

## プレスリリース

平成23年12月19日

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ（K-RIP）

平成23年度『九州-山東省(済南)環境ビジネスミッション』における「MOU調印式」、  
「九州-山東省環境ビジネスセミナー」及び「環境ビジネス商談会」の開催結果について  
～ 九州と中国山東省の環境関連企業が151件の商談を実施！～

○ 九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ（K-RIP）と九州経済産業局は、K-RIPと山東省人民政府との環境産業交流に係る覚書（平成22年7月締結）に基づき、平成23年12月14日（水）から17日（土）の日程で、山東省済南市へ環境関連企業など16企業・団体、総勢31名（団長；鶴田暁K-RIP会長；環境テクノス社長、顧問；滝本九州経済産業局長）を派遣しました。

○ 今回の環境ビジネスミッションでは、汚水処理場等の「現地視察」、「セミナー」、「MOU調印式（以下参照）」、「商談会」を開催しました。

○ また、山東省人民政府と今後の環境産業交流について意見交換を行い、より具体的な交流事業の実施について、K-RIPと山東省環境保護庁が新たに覚書を調印するなど、さらに相互協力していくことを双方で確認しました。

○ なお、「商談会」では、済南市、青島市、徳州市、濰坊市、淄博市等から約50社の企業が商談会に訪れ、合計151件もの商談が行われ、中国企業の関心の高さが伺えました。商談案件については、今後、K-RIPのコーディネーター、ジェットロ等が、成約に向けて総合的にサポートしていく予定です。

## 1. K-RIPと山東省環境保護庁との個別事業等実施にかかるMOU

K-RIPは、2010年7月、山東省政府と、九州地域と中国山東省との間の環境産業交流にかかる包括的な覚書（MOU）を締結しました。このMOUに基づき、2010年度、K-RIPは同省青島市との間で、ミッションの相互派遣を実施しました。

その後、両地域の更なる情報交流、企業間交流、人的交流を進めるための具体的な事業実施の必要性が高まり、今回のミッションにて、具体的な個別事業等の共同実施にかかる覚書（MOU）を締結しました。（署名者：（九州側）鶴田 暁 K-RIP 会長、（山東省側）張 波 環境保護庁長）

なお、合意された主な個別事業等は以下の3つです。

- (1) 第5回緑色博覧会（2012年9月、山東省で開催）への九州側からのミッション派遣および出展促進等の協力
- (2) エコテクノ2012（2012年10月、北九州市で開催）への山東省側からのミッション派遣等の協力
- (3) 環境問題の解決に向けて、専門家を交えた意見交換、調査事業等の共同プロジェクトの検討・企業の参加支援等の協力



(MOU 調印式風景：向かって右側が鶴田K-RIP会長、左側が張 環境保護庁長)

## 2. 「九州-山東省環境ビジネスセミナー」の開催結果概要

K-RIPと九州経済産業局は、山東省政府の協力を得て、環境分野における九州と中国との経済交流の推進を目的として、上記セミナーを開催しました。

本セミナーでは、九州地域の魅力をPRするべく、九州の環境・エネルギー産業やバイオテクノロジー産業等リーディング産業の紹介、K-RIPの事業概要、先進的な環境技術を持つ九州企業の紹介等を行いました。

参加者からは様々な質問が寄せられ、両地域の交流に向けた関心の高さが伺えました。なお、参加者は約180名（うち日本側 31名含む）でした。



（鶴田K-RIP会長の来賓挨拶）



（包K-RIPコディネーターのプレゼンテーション）

## 3. 「環境ビジネス商談会」の開催結果概要

上記ビジネスセミナー終了後、K-RIPは、ジェットロ青島事務所と山東省関係機関の協力の下、「環境ビジネス商談会」を開催しました。参加企業は、63社（日本側13社、中国側50社）で、合計151件の商談が盛況に行われました。商談案件については、今後、K-RIPのコディネーター、ジェットロ等が、成約に向けて総合的にサポートしていく予定です。



（商談会風景）

（参考）平成23年度「九州-山東省（済南）環境ビジネスミッション」の行程

- ◇ 12/14（水）
  - ・ 出国
  - ・ ジェットロ青島事務所によるオリエンテーション
- ◇ 12/15（木）
  - ・ 現地企業視察（2件）  
（濰坊市の企業1件、済南市の企業1件）
  - ・ 両地域の行政・産業団体トップによる交流促進むけた協議
- ◇ 12/16（金）
  - ・ MOU調印式
  - ・ 九州-山東省環境ビジネスセミナー
  - ・ 環境ビジネス商談会
- ◇ 12/17（土）
  - ・ 帰国

（本件に関するお問い合わせ先）

812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13-24（財）九州産業技術センター内  
九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ（K-RIP）事務局

担当：村田・金房

（TEL）092-474-0042 （FAX）092-472-6609

（メールアドレス）[info@K-RIP.gr.jp](mailto:info@K-RIP.gr.jp) （HPアドレス）<http://www.K-RIP.gr.jp>



## 1. 山東省の経済概況と環境ニーズ

### (1) 山東省の経済発展と環境問題

○中国山東省は全国第3位の経済規模を誇り、今後も毎年10%以上の経済成長が見込まれています。しかしながら、急速な経済発展の陰では汚染物質の排出規模が中国でも有数（特に二酸化硫黄等）であり、また、資源も乏しく（例：1人当りの水資源については全国平均の1/6程度）、経済成長の大きな足かせとなっています。加えて、第12次5カ年計画を踏まえ、厳しい環境規制が実施されるため、新たな環境ニーズが出現すると考えられます。当該環境ニーズに対し、有効なソリューションを提案できる企業様におかれては、大きなビジネスチャンスが生まれるものと思います

### (2) 第12次5カ年計画期間中の山東省政府の目標、主なプロジェクト及び投資分野

○目標：2015年まで次の環境指標を2011年比で大幅に改善させる。COD（12%減）、アンモニア（13.3%減）、二酸化硫黄（14.9%減）、窒素酸化物（16.3%減）、大気と水資源の質は2010年比20%改善させる。

○プロジェクト：2015年までに山東省全省でCOD、アンモニアの排出削減分野で1,434個の個別プロジェクト、二酸化硫黄の排出削減で1,005個のプロジェクト、窒素酸化物で同904個のプロジェクトを実施予定。2020年までに山東省は汚染処理、環境基礎施設の建設、生態回復、生活環境改善面において5兆元以上の投資を行う予定。

### (3) 顕在化する環境ビジネスニーズ

○大気・水質の浄化・環境修復（二酸化硫黄の排出削減、汚水浄化等）、省エネ設備、廃棄物処理（工業固形廃棄物、建築等廃棄物、生活ゴミの分別・堆肥化等再生利用等）、資源リサイクル等。

## 2. 済南市の概要

### (1) 省内での位置づけ

○済南市は、山東省の西部に位置し、省都として省内の通商、政治、文化の中心地。

### (2) 経済概況

○人口：約570万人

○1人あたりGDP：49,954.75元（全国で21位）

○済南市は重工業（冶金鉄鋼産業、交通装備産業等）や軽工業（紡織、食品、医薬等）の企業が多く、中国有数の鉄鋼メーカーも存在。現在は、製造業だけでなく、保険や情報技術、通信、観光などサービス産業、ハイテク産業も急成長している。

### (3) インフラ面

○済南市には全国的な高速道路ネットワークの中心があり、済南と青島を結ぶ済青高速公路、北京と福州を結ぶ京福高速公路、北京と上海を結ぶ京滬高速公路など、中国の南北軸と東西軸の交点があり、これらを結ぶ市内環状高速道路もできている。

○物流では高速道路や鉄道を使って青島港が使えるほか、内陸コンテナターミナルも存在。済南遥牆国際空港は国内各地を結んでいる。

○山東大学、済南大学、山東軽工業学院、山東科技大学等、高等教育機関・研究機関が多く集まっており、高度な知識、技術を持った人材が比較的多い。